

県立高等学校の特色ある学校づくりの取組や全日制課程普通科通学区の全県一学区等についての情報をお届けします。

1 高校の特色ある取組, 2 学校紹介スペシャル, 3 コラムは各高等学校から寄せられた原稿を掲載しています。

なお, 県立高等学校についての情報及び全県一学区についての情報は以下のホームページをご覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

全県一学区に向けての取組

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/ichigakku/ichigakku.htm>

■ もくじ ■

1：【高校の特色ある取組】

(1)白石工業高等学校

＜高校生ものづくりコンテストについて＞

(2)涌谷高等学校

＜翔ける！涌高力で＞

(3)本吉響高等学校

＜総合学科／基礎学力重視／情報・環境の2本柱＞

(4)工業高等学校

＜開かれた学校づくり「産業界と学校の教育懇談会と公開授業」の開催＞

2：【学校紹介スペシャル】

貞山高等学校

＜充実した教育相談活動＞

佐沼高等学校

＜校是「文武両道」のもと, 一人ひとりの目標に向かって＞

仙台三桜高等学校

＜学校紹介＞

中新田高等学校

＜授業と部活動で充実した高校生活を!!＞

塩釜高等学校

＜塩釜高校と塩釜女子高校が統合され, 男女共学の新しい高校が開校します＞

仙台二華高等学校

＜[仙台二華の学び] = [豊かな体験活動] × [実績ある学習指導]＞

古川工業高等学校（定時制課程）

＜働きながら学べる高校＞

名取高等学校

＜夢を叶える「学びの学校」を目指して＞

3：【コラム】

(1)古川工業高等学校（定時制課程）

＜会長から一言＞ 生徒会長 佐々木 可織

4：【お知らせ】

- (1) メールマガジンのバックナンバーについて
- (2) ハイスクール・ネットワークー高校教育課通信ー第82号について
- (3) 公立高校ガイド（入試情報）について
- (4) 公立高校ガイドブックについて
- (5) 「今後の県立高等学校入学者選抜の在り方について」

5：【編集後記】

■ 1 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高등학교の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□ 白石工業高等学校

| <高校生ものづくりコンテストについて>

6月配信のメルマガでは、「個性かがやく高校づくり」と題する研究事業について、10月配信では、みやぎ県民大学「学校開放講座」についてご紹介致しました。

今回は「高校生ものづくりコンテスト」を主にお知らせしたいと思います。このコンテストは「旋盤部門」「電気工事部門」「木材加工部門」「化学分析部門」などの部門毎に、各工業高校生が、日頃実習などで鍛えた技を披露するものです。その中の「電気工事部門」に参加した本校生徒の活躍を紹介します。

電気工事部門には、県内11の工業高校から21名の生徒が参加し、制限時間90分という厳しい条件のもと、配布された回路図を読み取り作品を完成させるという「電気工事のテクニク」を競うものです。

本校からは2名の生徒が出場し、大会の2ヶ月前から仙南電気事業協同組合青年部の方々より熱心な指導を受け大会に臨みました。多くの参加者が制限時間内に回路を組み立てることができない中、2名は余裕を持って完成させました。優勝を目指し練習してきた結果が実り、ミリ単位の差で1名（大内中出身）が2位、もう1名（福岡中出身）が3位という結果を残すことができました。

□ 涌谷高等学校

| <翔ける！涌高力で>

今年の生徒会のスローガンです。涌谷高校は生徒会活動がとても盛んです。19年度には「涌高ふれあい隊」という生徒会のボランティア組織が全国表彰を受けています。

このことがきっかけとなり、22年度からは選択授業として「社会体験・ボランティア活動」が始まります。

部活動もとっても盛んです。成績の最新情報をお届けします。

◎文学部「詩のボクシング 北海道・東北ブロック大会出場」

◎書道部「県高等学校書道展覧会推薦（最高賞）22年度全国総文祭参加決定」

◎男子新体操部「県新人大会団体優勝、個人3位・東北大会出場、全国高等学校新体操選抜大会出場決定」

◎そのほかにも県新人大会において、女子ハンドボール部第3位、女子ソフトボール部第3位など活躍多数です。

授業も充実しています。普通教科の充実はもちろんですが、音楽、美術、書道の教養系もそれぞれ専任の先生方がそろっています。結果として、国立大学への進学から民間企業への就職まで、それぞれの進路目標を達成することができます。

<くわしくはこちら> <http://www.wakuya-h.myswan.ne.jp/>

□ 本吉響高等学校

| <総合学科／基礎学力重視／情報・環境の2本柱>

- 単位制総合学科として多様な選択科目を展開していることが大きな特徴です。
4系列からなる選択科目群と自由選択科目群があり、2年次で週8時間、3年次で週14時間が選択の時間となります。
- 基礎学力養成を目指した取組をしています。
 - ・「学び直し」・・・1年次の「国語総合」・「数学Ⅰ」・「英語Ⅰ」では、4月からの一定期間、中学校の学習内容を復習し、高校への学習にスムーズに移行できるように配慮しています。
 - ・「SSタイム」・・・基礎学力養成のための時間。国語・数学・英語の3教科について週1回の小テストで、年間それぞれ9回ずつのSSタイムを、前日の勉強会と併せて実施しています。
- 情報教育と環境教育を2つの柱としています。
 - 【情報】分野・・・『情報』『商業』『工業』の教科を中心に、「情報と表現」「情報処理」「プログラミング」等々の科目があります。また、『音楽』の「器楽演奏」等の科目では、コンピュータと音楽機器を組み合わせた授業も行っています。
 - 【環境】分野・・・『農業』『理科』『家庭科』の教科を中心に、「栽培環境」「環境と衣食住」「自然観察」など、本校独自の科目も展開しています。「自然観察」では、学校周辺の豊かな自然環境の中で観察や調査活動を行っています。環境に配慮した稲作「ふゆみずたんぼ」や「アイガモ農法」にも取り組んでいます。

他にも多くの特色があります。是非、ホームページ等をご覧ください。

<くわしくはこちら> <http://hibiki-h.myswan.ne.jp/>

□ 工業高等学校

| <開かれた学校づくり 「産業界と学校の教育懇談会と公開授業」の開催>

本校で第4回学校と産業界との教育懇談会・公開授業を11月10日火曜日の午後に実施しました。参加者は産業界（企業・みやぎ工業会）の方が19社20名と学校評議員（地元町内会長、同窓会長、PTA会長）とPTA役員（懇談会のみ参加）、本校教職員でした。当日は保護者への公開授業も実施しました。

実習棟での6つの科における実習施設と生徒の実習の様子を2班に分かれて見学してもらいました。

その後、産業界の方と情報交換会を行いました。企業の方からの意見として、初めて工業高校の実習施設に足を踏み入れ、実習施設設備の充実に驚き、先生と生徒のいい関係が理解できたとの声もありました。一方、高度先端技術習得の作業実習も要望もありました。PTA役員や学校からは、厳しい就職状況の中、これからも少しでも求人をお願いしたいとの声があがりました。また、今後の求人や景気の見通しについて質問があり、まだまだ厳しい状況であり、工場の海外移転も視野に入れているとのことでした。外部の方からの声をお聞きする貴重な場でした。

来年度は6月に校長会工業部会との共催で行い、さらに開かれた学校づくりを進めていきます。

→ <くわしくはこちら> <http://miyagi-th.myswan.ne.jp/>

■ 2 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ 貞山高等学校

┆ <充実した教育相談活動>

本校では、年間32回（1回あたり6時間；月2～3回程度）スクールカウンセラーによる相談日を設けています。昼間部と夜間部の二部制をとっているのので、他校（約年間24回）よりも相談日が多く設定されています。

カウンセリングでは、人間関係、勉強、進路関係、家族のこと、自分自身のことなどで、心配なこと不安な気持ち、悩みごとなどをカウンセラーが生徒のみなさんと一緒に話しをしながら解決にむかって考えてくれます。また、自分の気持ちのコントロールやリラックス、ストレスとの付き合い方についても相談にのってくれます。

具体的に「これだ！」という悩みはないけど…、話したいけど上手くしゃべれないなあ…、少し気持ちをリラックスさせたいなあ…という様々な内容に対してもカウンセラーは対応してくれます。お陰で本校の相談日は毎回予約の生徒で一杯になっています。

もちろん、カウンセリングの時間は限られているので、常に学校においては担任をはじめ教科担当、部活動の顧問などいろいろな先生がみなさんの相談にのってくれます。そして保健室ではいつでもどんな話の内容でも養護教諭が対応していますので、ひとりで悩みを抱え込まないで気軽に話しが出来るしくみが整っています。

<おいしい給食>

本校では夜間部生徒のみなさんのために、毎日おいしい給食を提供しています。専任の栄養士1名と調理員3名で季節の食材をいかした栄養たっぷりのメニューを作成し、出来たてをみなさんに食べてもらうために毎日学校で手作りしています。

授業が始まる前に給食を食べてしまうので、お腹一杯になって授業中眠くなったり…する人も中にはいるようですが、アルバイト帰りの人や遠くから通っている人にとっては本当に有り難いものですね。そして何より、みんなと一緒に食事をすることによってコミュニケーションが図れたり、こころのふれあいの場にもなっているので、夜間部の給食はかかせません。

（詳しくは本校HPをご覧ください。）

→<関連HPはこちら> <http://www.teizan.myswan.ne.jp/>

□ 佐沼高等学校

┆ <校是「文武両道」のもと、一人ひとりの目標に向かって>

佐沼高校は、「文武両道」の校是のもと、一人ひとりの生徒がそれぞれの目標に向かってひたむきに学習や部活動等に励んでいます。昨年度の国公立大学合格者は64名。インターハイや全国総合文化祭にも数多くの生徒が出場しました。

文武両道の取組① 学習面

佐沼高校では、昨年度から、毎日45分×7時間の授業を行っています。どんな進路を希望するとしても重要になる英語・数学・国語の各教科には特に力を入れています。この3教科では、授業時間数を通常より増やしているだけでなく、少人数や習熟度別編成による授業も行っており、密度の濃い学習ができます。

また、授業に加えて、学習を深めていくための課外講習などもあります。全学年対象で、年間を通じて月に2回程度行われている「土曜課外」。夏、冬の長期休業中の課外、3年生の県総体終了後から行われる毎日2コマの「放課後課外」。その他にも、仙台や東京から講師を佐沼高校に招いて行われる「連携課外」や、他の高校と合同で校外で行う「学習合宿」など、学ぶ機会はたくさんあります。

文武両道の取組② 部活動

今年はインターハイに陸上競技（棒高跳）とボート競技（女子舵手付クォドルプル）が出場し、両競技ともに国体にも出場しました。文化部でも箏曲部と美術部が全国総合文化祭へ出場するなど、どの部も全国レベルでの活躍を目指し、熱心に活動しています。「チームワーク」や「自分たちでよりよい練習計画を立てること」など、成績や結果だけではなく、多くのものを部活動を通して手に入れることができるはずです。

文武両道の取組③ 学校行事

佐沼高校は、学校行事の盛んな学校です。特に夏休み前後に行われる「球技大会」「陸上大会」「佐高祭（文化祭）」は「三大行事」と呼ばれ、大きな盛り上がりを見せます。行事では、与えられたものを受け身に楽しむだけでは、本当に楽しむことはできません。佐沼高校では、生徒会役員や実行委員の生徒を中心に、毎年「去年以上に盛り上がる、よい行事にしよう」と自分たちで考え、行動しています。

みんなが参加することでより「楽しめる、盛り上がる」行事になっているのです。地域の商店会とタイアップして実施された佐高祭では、野外ステージなど昨年以上の盛り上がりを見せ、地域と一体となった佐沼高校を大いにPRできました。

文武両道の取組④ 生徒のがんばりを支える環境

放課後の職員室前。廊下には机が並び、手元を明るくする照明もあります。多くの生徒が遅くまで自習しています。わからないところは、積極的に先生方に質問する姿も見られます。この、放課後の学習は佐沼高校の伝統ともいえるもので、先輩たちの姿が後輩たちに引き継がれています。

佐沼高校には、登米市内を中心に、広範囲から生徒が通学しています。通学手段として大きな役割を果たしているものに市民バス（100円バス）があります。朝の通学時はもちろんのこと、部活動後の下校時（19時台）にも運行され、多くの生徒が利用しています。

→〈ホームページはこちら〉 <http://sanuma.myswan.ne.jp/>

□ 仙台三桜高等学校

┆ <学校紹介>

1 平成22年度から、教育課程を変更いたします。45分7時間授業（週5日間）になり、本校の伝統でもある学習と部活動との両立に向けて、生徒が主体的に取り組めるよう配慮しました。本校の教育課程の特徴は以下の通りです。

1 学年：基礎教科・科目、普通教科の学習に重点が置かれ、生徒は選択制の芸術科目を除いた全科目を共通履修します。生徒は自己理解を深め、自己の特性を発見するようにします。

2 学年：数学Bが全員履修になりました。理科についても全員2科目（物理Ⅰ生物Ⅰから1科目、化学Ⅰ・地学Ⅰから1科目）を履修します。また、芸術科目を深く学びたい生徒は芸術Ⅱを選択できます。生徒はそれぞれの進路希望の実現に向かって準備します。

3 学年：各自の進路に直結した文（文系進学）、理（理系進学）のいずれかの類型を選択します。また、各類型に準備された多様な選択科目から自分にとって必要な科目を選び、各自の希望する進路に向けてさらに学力を高めることが可能です。

2 時程について上記の変更に伴い、時程についても以下ようになります

S H R：8：35，7校時終了：15：35，部活動16：00～19：00

特に、45分7時間授業（5日間）の導入については、学習と部活動の両立を目指すという本校の伝統を踏まえ、平日の部活動の活動時間を十分に確保しつつ、家庭学習にも十分に組みこめるような生活サイクルの確立を目指します。

3 部活動について

本校は伝統的に部活動、生徒会活動あるいはボランティア活動が盛んで、運動部・文化部ともに県内はもとより、全国大会での活躍も顕著なものがあります。部活動は以下の通りですが、男子生徒についても全ての部活動に入部できます。

・運動部12（バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、卓球、ハンドボール、体操、陸上競技、水泳、バドミントン、剣道、ワンダーフォーゲル）

・文化部19（英語、書道、美術、音楽、写真、華道、手芸、演劇、茶道、放送、アニメ漫画研究、クッキング、文芸、ギター、化学、新聞、地学、生物、園芸）

・同好会3（映画研究、JRC、物理）

平成20～21年における各種大会の実績を一部紹介しますと、陸上競技部・ハンドボール部・ソフトテニス部・体操部・水泳部がそれぞれ東北大会に出場し、全国レベルではワンダーフォーゲル部（3年連続）・陸上競技部でインターハイに出場しました。文化部では書道部が全国総合文化祭に出品し特別賞を、音楽部はNHK合唱コンクール全国大会での銀賞など多数の賞をいただきました。また、放送部も、全国総合文化祭やNHK放送コンテスト全国大会に参加、演劇部では本年3月に宮城県の高校としては初めて春季全国高等学校演劇研究大会に出場しております。さらに、美術部も全国総合文化祭に出品するなどめざましい活躍を見せました。来年度から男子生徒が入学してきますが、本校の伝統を継承し、活力ある学校として邁進していけるよう一丸となって取り組んで参ります。

4 進路について

本校ではおおむね大学・短大への進学者が約6割、専門学校各種学校が約3割、就職・進学準備等は1割となっております。主な進路先（平成21年3月卒業生）については以下の通りです。（ ）内は人数です。

〈国公立4年制大学〉宮城教育大学，山形大学(2)，福島大学，宮城大学(4)

〈国公立短期大学〉会津大学短期大学部，山形県立米沢女子短期大学

〈私立4年制大学〉東北学院大学(38)，宮城学院女子大学(37)，東北福祉大学(20)，東北薬科大学(3)

〈私立短期大学〉尚絅学院大学短期大学部(9)，聖和学園短期大学(4)

〈就職〉宮城県警察官，宮城第一信用金庫，杜の都信用金庫，藤崎，アイリスオヤマ他

5 本校を志望する中学生へ

本校の期待する生徒像は以下の通りです。高校生活に意欲的に取り組み、自分の目標に向かって精一杯努力する生徒の入学を心より期待しています。

「本校を志望する明確な目標・動機を持ち、学習意欲が高く、学習成績が優秀で、出席状況が良好なこと。さらに、望ましいのは次のいずれかに該当すること」

・運動部・文化部活動において、特に顕著な成果を納めていること。

・生徒会・ボランティア活動などで指導的な役割を果たし、高い評価を得ていること。

→〈ホームページはこちら〉→ <http://sanjo.myswan.ne.jp>

□ 中新田高等学校

| < 授業と部活動で充実した高校生活を!! >

中新田高校は、国内有数の音楽ホールであるバッハホールのある加美町の豊かな自然環境のもと、学習に、行事に、部活動にと、バランスのとれた教育活動を展開しています。これまで5000名以上の卒業生を送り出し、地元のみならず幅広い分野で活躍し、厚い信頼と高い評価を得ています。今年度より普通科3学級（2コース制）に改編することで、これまで以上に進学や就職指導を充実させ地域に根ざした高校として、充実した教育の実践を目指しています。

| 新しい中新田高校 |

本校は、これまでの普通科2学級、商業科2学級の学科編成を下記のような普通科3学級（2コース制）に改編しました。

○普通科アカデミックコース（2クラス）

大学受験へ向けた十分な学力を養成し、大学や短期大学、専門学校への進学を目指すコースです。1・2学年では5教科をバランスよく学び、3学年では進学希望に応じた選択科目により、それぞれの進路希望に対応した学習指導が受けられるコースです。また、公務員や民間企業への就職へも対応した選択科目も設定し、就職希望者へのサポートも行います。

○普通科ビジネスコース（1クラス）

商業の専門科目を多く学び、各種資格を取得し、公務員や民間企業への就職を目指すコースです。1・2学年では、普通教科の学習に加えて、商業科目を重点的に学び、各種の検定試験合格を目指します。また、推薦等による進学へ対応できる基礎学力を養成し、資格を活かした就職だけでなく進学もサポートします。取得可能な資格は、簿記1級、情報処理1級、ワープロ検定1級、電卓検定1級です。

上記目標の実現のため、入学後は

- ①学習オリエンテーション……高校生として望ましい学習の方法を学びます。
- ②HR合宿……授業～部活動～家庭学習の流れを合宿の中で確認します。また、クラス毎の親睦を深めることも目的としています。

などを行っています。

その他、長期休業を利用した進学講習や1学年の後半からは平日の放課後にも進学希望者向けの講習を行う予定です。

中新田高校は

希 | 望 | 実 | 現 | に | 全 | 力 | を | 尽 | く | し | ま | す | ! |

| 盛んな部活動 |

本校では、生徒は運動部・文化部のいずれか1つに必ず加入することになっており、運動部には男女合わせて60%が加入しています。特にカヌー部、空手道部は全国大会でも毎年上位の成績を収めています。今年のインターハイ、国体の結果は次の通りです。

カヌー部……インターハイ 200 m K-2 3連覇

空手道部……国体 個人形第3位

その他の部活動もカヌー部、空手道部に負けじと日々熱心に練習に取り組んでいます。勉強だけでなく、部活動にも手を抜かないのが中新田高校スタイルです。

一人ひとりがかがやく高校

平成18年度から教員の授業力の向上を目指す研究実践と、生徒の進路意識の高揚を図る取組を行っています。以下に取り組みの一部を紹介します。

①公開授業研究会

宮城教育大学と連携し、公開の授業研究会を行うことで教員の授業力の向上に努めています。

②進路ガイダンス

さまざまな分野の職業人を講師に招き、少人数・分野別ガイダンスを行っています。経験を基にしたリアルな講話を聞くことは、卒業後の進路を考える上でとても参考になると思います。

その他、学校生活のさまざまな場面で「個性かがや」けるよう、生徒・職員が一丸となって学校づくりを行っています。

くわしくは本校ホームページをご覧ください。

→〈ホームページはこちら〉 <http://www.nakani-h.myswan.ne.jp/>

□ 塩釜高等学校

〈塩釜高校と塩釜女子高校が統合され、男女共学の新しい高校が開校します〉

本校は、塩釜高等学校と、塩釜女子高等学校が平成22年4月に再編統合されて開校する男女共学の新しい高等学校です。

現在塩釜高校に設置している商業科も、来年度の1年生からビジネス科に改編し、共学に生まれ変わります。

普通科8学級、ビジネス科2学級の2学科10学級という県下屈指の大規模校です。

両キャンパスの施設・設備をすべて活用して学習活動を展開します。

統合校の校訓や校章も新たに制定しました。現在校歌を制作中です。

統合校の特長を紹介します。

1 現在の両校校舎・校地を最大限活用します（2校分の施設・設備です）

統合校での教室は、

西キャンパス（塩高校舎）…普通科3年、ビジネス科1年、商業科2，3年

東キャンパス（塩女校舎）…普通科1，2年 となっています。

授業は、教室の配置されている校舎で行います。

校舎間の移動の際は、塩釜高校東門から塩釜女子高校北門間を主な移動通路と考えています。なお、生徒の皆さんが授業で校舎間を移動することは極力無くす方向で考えています。

2 多様な進路に対応したカリキュラム

国公立大学・私立大学・短大・専門学校等への進学、そして公務員や民間就職など多様な進路に対応したカリキュラムになっています。

（1）普通科

①各教科の基礎・基本を身につけ、基礎学力を養成すると同時に、1年次の数学Ⅰで習熟度別学習、英語ⅠではTTを取り入れるなど、生徒一人一人の能力・適性に応じ

た指導により学力向上を目指しています。

② 2, 3 年次には, 生徒各自の適性や進路希望に合った学習ができるように, 多様な選択科目を設置しています。例えば, 国公立大学志望者に対しては, 5 教科 7 科目のセンター試験に対応できる科目を, 就職希望者には商業科目・家庭科目等を選択できるようにしています。

(2) ビジネス科

ビジネスの諸活動についての基礎・基本を学んだうえで, 自分の興味・関心や進路希望に応じて, より専門的な知識と技術を幅広く学習できるように, 多様な選択科目を設置しています。進学希望の生徒にも対応した教育課程です。また, 専門科目の学習を通して, いろいろな資格を取得することができます。

3 部活動

部活動については, 運動部・文化部ともに活発に活動しています。統合校では, 基本的に現在活動している両校の部を開設しますので, 生徒の皆さんの一層の活躍を期待しています。活動場所は, 両キャンパスの施設・設備やグラウンドをすべて活用します。

4 交通アクセス

両キャンパスは, JR 東北本線塩釜駅からも, 仙石線西塩釜駅からも徒歩で 10~15 分程度のところにあります。仙台市内はもとより, 石巻方面や県北部からも通学しやすい立地です。

5 平成 22 年度高校入試

推薦入試では, 個人面接を実施します。募集定員は, 普通科が定員の 30% 以内, ビジネス科が定員の 40% 以内です。

一般入試では, 面接や傾斜配点はありません。

→<ホームページはこちら>塩釜高校 <http://www.shioko.myswan.ne.jp/>

塩釜女子高校 <http://siojo-h.myswan.ne.jp/>

□ 仙台二華高等学校

| < [仙台二華の学び] = [豊かな体験活動] × [実績ある学習指導] >

仙台二華高等学校は, 平成 22 年 4 月, 男女共学, 中学校併設型の中高一貫教育校として仙台市若林区連坊に開校します。第二女子高等学校の百有余年の歴史と伝統を引き継ぎながら, 次の時代を担う俊英として, 世界, 日本, 地域に貢献できるリーダーを育成することを目指して教育活動を展開していきます。

「仙台二華の学び」は, 総合的な学習の時間を中心とした「豊かな体験活動」と県内屈指の進学校として培ってきた「実績ある学習指導」の相乗を目指しています。さまざまな実体験をとおして学ぶ意義や自分の将来, 世界の将来について考え, 学習に対する意欲を高めながら, 難関大学への進学に対応した学習指導や進路指導で, 生徒一人一人を伸ばし, 引き上げるようサポートしていきます。

仙台二華の総合的な学習の時間は, インターナショナルスタディ (IS), サイエティフィックリサーチ (SR), キャリアスタディ (CS) の 3 領域で構成し, 体験から思考, 表現, 行動へと発展するカリキュラムを編成しています。1 年次に週 2 時間, 2 年次に週 1 時間, 「地球環境」をメインテーマとして, 人間, 社会, 自然, 生命について探究的に学びを進めていきます。

国際交流・国際理解活動も仙台二華の特徴の一つです。シンガポールへの海外研修旅行 (2 年次) や希望者を対象とした海外語学研修 (アメリカ・デラウェア州) の実施を計画しています。今年 2 月には, ユネスコ (国際連合教育科学文化機関) スクール

の指定を受けました。国内外のネットワークを活用しながら、国際人としての視野を広げ、世界の中の日本人という自覚を高める教育活動を充実させていきます。

→ くわしくはこちら < a href="http://www.nijo.myswan.ne.jp/Sendai%20Nika/01_index.html" data-bbox="115 100 870 117">http://www.nijo.myswan.ne.jp/Sendai%20Nika/01_index.html

□ 古川工業高等学校（定時制課程）

| < 働きながら学べる高校 >

定時制の授業は普通教科と工業の専門教科に分かれています。電気科では、電気に関する一般知識を学習し、コンピュータやロボット、電気工事などの実験実習を通して将来の仕事に役立つ技術を習得します。

機械科では汎用工作機械、マシニングセンタ、溶接等の実習を通して機械の基本的な技術を学び、更にコンピュータ、CAD、ワープロ等、社会の情報化にも対応できるような技術を身につけることができます。また努力次第では工業の専門的な資格を取得できます。

< 取得可能な資格 >

第二種電気工事士，アーク溶接技能，ガス溶接技能，ボイラー取扱者，危険物取扱者，ワープロ技能検定，計算技術検定，情報技術検定など

< 一日のタイム・テーブル >

○午後5時から午後5時30分まで給食室で夕食になります。

○午後5時30分から午後5時35分までSHRがあり、出欠確認や担任からの連絡があります。

○授業は午後5時35分から午後8時30分までで、この後放課となります。

< 生徒会活動 >

生徒会役員を中心に生徒一人一人が自主的、積極的に参加する生徒会を目指して活動しています。特に生徒会主催の行事では、たくさんの生徒が参加できるように、いろいろな意見を出し合い、盛り上がるように工夫しています。また、各学期の生徒目標もみんなで考えて、昇降口に張り出すなど、学校生活の充実をはかっています。

< 部活動 >

運動部は、野球部、バレーボール部、バスケットボール部、バドミントン部、陸上部、卓球部、剣道部、柔道部の8部があり、高等学校定時制通信制体育大会宮城県大会ではバレーボール部が17回の優勝、加えて平成21年度まで8年連続優勝を誇っています。今年の全国高等学校定時制通信制体育大会では第3位に入りました。陸上部も個人種目で全国大会に出場しています。

文化部は電気研究部と機械研究部の2つの部があります。今年度の古工展では電気研究部は、LEDイルミネーションや電子工作物の展示を行い、機械研究部はオリジナルで製作した焼き芋機を展示して、焼き芋の販売を行いました。

< 給食について >

給食は、栄養士さんと調理員さんが心を込めて作った給食をできたてで食べることができます。メニューもいろいろあってとても美味しいです。

< 定時制ならではの特長 >

○ 勤めている生徒には、教科書購入金額の同額が補助されます。（勤務日数など一定の条件が必要となります。）

○ 給食は完全給食です。補助があり、わずかな負担（年額48,000円程度、1食あたり約260円）で夕食が食べられます。（補助を受けるには、勤務日数などの

一定の条件があります。)

○ 授業料は年額32,400円(平成21年度)で、全日制の3分の1以下です。

また、経済的諸事情により授業料の減免を受けることも可能です。

→ <ホームページはこちら> <http://www.furuk2-h.myswan.ne.jp/>

問い合わせ 古川工業高校定時制 TEL 0229-22-3167

□名取高等学校

<夢を叶える「学びの学校」を目指して>

《学校の概要》

・大正13年に岩沼実家高等女学校として設立され、以来86年の歴史を有する伝統校です。これまで約2万人の卒業生を輩出し、卒業生の皆さんは各界で活躍されています。

・学校はJR岩沼駅より徒歩約15分の所に位置し、校名「名取」は本校が旧名取郡唯一の高等学校であったことに依るものです。新制高等学校移行当時の地域の誇り、そして学校への厚い信頼と期待が感じられます。

・生徒諸君はみんな明るく素直で、校訓「真善美への感動と実践」のもと、全日制課程と定時制課程あわせておよそ900名が、それぞれの夢の実現を目指して学んでいます。

・平成15年度から平成17年度まで「みやぎ高校いきいき夢プラン事業」実践校の指定を受け、また、平成21年度・22年度は文部科学省「道徳教育研究実践事業」実践校としての指定を受けました。それぞれの研究と実践を継続しています。

・生徒諸君の「学び」を中心に考え、常に教育内容の検討と質の改善に取り組んでいる学校です。

《学習》

・全日制課程普通科(各学年240名定員)

1学年より芸術科目(音楽・美術・書道)を選択し、2学年にも進路に応じた選択科目を設けています。3学年では、進学希望コースと就職希望コースの2つの類型に分かれて学習します。大学・短大への進学、専門学校等への進学、就職とそれぞれ進路希望は異なりますが、一人一人の希望に応じた、きめ細やかで丁寧な指導を実践しています。

・全日制課程家政科(各学年40名定員)

1学年より、普通科目の学習に加えて家庭科の専門科目を学習し、学年が進むにしたがって、専門的な科目の学習が増えてきます。3学年では、保育・看護福祉、食物・調理、被服等についての学習をさらに深めます。校外から講師を招いてのお菓子作り講習、郷土料理講習、イタリア料理講習、着物着付け講習や地元保育所での保育実習等も行っています。

・定時制課程普通科(各学年40名定員)

働きながら学ぶ生徒諸君が中心であり、一人一人の状況に応じた細やかな指導を実践しています。また、卒業後のステップアップを目指す生徒諸君のためのガイダンス等も行っています。

《進路》

全日制課程現3年生の進路希望については、専門学校も含めた進学希望者が約75%、就職希望者が約25%という状況です。

また、11月時点での現3年生の進学・就職の合格内定状況は次の通りです。

大学46名 短大17名 専門学校・看護学校等76名 就職36名

就職を中心に厳しい状況は続いておりますが、まだ合格の内定していない生徒諸君も、進学、就職のそれぞれの目標達成に向けて一生懸命努力しているところです。《部活動》

運動系，文化系あわせて27の部・同好会があり，生徒諸君は必ずどこかの部に所属して活動することにしています。多くの部が仙南地区の大会やコンクールで上位入賞を果たしており，平成21年度は高校総体陸上個人ハンマー投げと新体操男子団体で東北大会出場を果たし，また新人大会弓道個人でも東北大会出場を果たしています。さらに，文芸部の全国コンクール出品なども光るところです。

《中学生及びその保護者の方々に》

生徒諸君は学習や部活動に日々励んでいます。生徒会や委員会を中心に運営される行事も多く，いきいきとして充実した高校生活を送っています。本校は「学び」の多い「進化する学校」です。中学校からの「上級学校訪問」も含め，学校見学等は随時受け付けております。ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

→（ホームページはこちら） <http://www.natori-h.myswan.ne.jp/>

■ 3 コラム ■

高等学校の校長先生，一般の先生，生徒代表などが，「我が校」に対する想い，最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□ 古川工業高等学校（定時制課程）

| <会長から一言>

| 生徒会長 佐々木 可織

『おはよう』昼間仕事をして，夜間登校する。定時制課程の生徒達の1日はここから始まります。

温かい給食を食べ，勉強し，そして部活動で汗を流す。仕事場では大人の人達から社会のルールを学び，学校では実習や授業をとおして様々な資格を取得することができます。全日制課程より1年長く4年間通学するのですが，その途中で人間関係や仕事，そして進路のことなどで悩みがでてくることも多々あります。そのようなときに，親身になって私たちの話を真剣に聞いてくれる先生が本校定時制の先生方なのです。

→ <ホームページはこちら> <http://www.furuk2-h.myswan.ne.jp/>

問い合わせ 古川工業高校定時制 TEL 0229-22-3167

■ 4 お知らせ ■

(1)メールマガジンのバックナンバーについて

メールマガジンの第1号（平成19年7月10日発行）から第14号（平成21年11月10日発行）までのバックナンバーを高校教育課のホームページに掲載していますので，ご活用ください。

「高校の特色ある取組」「学校紹介スペシャル」「コラム」等のコーナーにおいて，各号で掲載している高校は次のとおりです。

〈第14号（平成21年11月10日発行）〉

「高校の特色ある取組」 … 東松島，宮城第二工，松島，仙台三桜

「学校紹介スペシャル」 … 河南，松山

「コラム」 … 気仙沼，河南，仙台三桜

〈第13号（平成21年10月9日発行）〉

- 「高校の特色ある取組」 … 白石工，仙合一，貞山，黒川，古川
「学校紹介スペシャル」 … 宮城野，富谷，仙台二，迫桜，石巻西
「コラム」 … 泉松陵

〈第12号（平成21年9月10日発行）〉

- 「高校の特色ある取組」 … 鹿島台商，女川，角田，気仙沼西，古川工，
柴田農林，登米
「学校紹介スペシャル」 … 佐沼，柴田，利府，河南，白石，田尻さくら
「コラム」 … 仙台向山

〈第11号（平成21年7月10日発行）〉

- 「高校の特色ある取組」 … 白石，小牛田農林，古川，志津川，貞山，
一迫商，黒川，石巻西
「学校紹介スペシャル」 … 佐沼，泉松陵，泉，石巻好文館
「コラム」 … 気仙沼

〈第10号（平成21年6月10日発行）〉

- 「高校の特色ある取組」 … 古川工，村田，宮城野，石巻工，古川，石巻商
「学校紹介スペシャル」 … 志津川
「学校情報」 … 河南，宮二女

〈第9号（平成20年12月10日発行）〉

- 「高校の特色ある取組」 … 本吉響，古川黎明，宮城工
「学校紹介スペシャル」 … 仙台三，石巻
「コラム」 … 岩ヶ崎，貞山，塩釜女子

〈第8号（平成20年11月10日発行）〉

- 「高校の特色ある取組」 … 志津川
「学校紹介スペシャル」 … 中新田，岩ヶ崎
「コラム」 … 富谷

〈第7号（平成20年10月10日発行）〉

- 「高校の特色ある取組」 … 柴田農林，松島，石巻好文館
「学校紹介スペシャル」 … 白石，白石七ヶ宿
「コラム」 … 貞山
「お知らせ等」 … 宮二女

〈第6号（平成20年9月10日発行）〉

- 「高校の特色ある取組」 … 白石・七ヶ宿，柴農・川崎，古川工
「学校紹介スペシャル」 … 宮城一，米山，泉松陵
「コラム」 … 古川工（定）

〈第5号（平成20年7月10日発行）〉

- 「高校の特色ある取組」 … 宮城工，一迫商，石巻商，田尻さくら，東松島
「学校紹介スペシャル」 … 佐沼

〈第4号（平成20年6月10日発行）〉

- 「高校の特色ある取組」 … 白石工，石巻西
「学校紹介スペシャル」 … 志津川
「コラム」 … 泉松陵
「お知らせ等」 … 柴田，宮二女

〈第3号（平成19年12月10日発行）〉

「高校の特色ある取組」 … 宮一女（現：宮城一），田尻さくら，富谷

〈第2号（平成19年10月10日発行）〉

「高校の特色ある取組」 … 名取北，女川，水産，黒川

「学校紹介スペシャル」 … 仙台三

「お知らせ等」 … 仙台南，南郷

〈第1号（平成19年7月10日発行）〉

「高校の特色ある取組」 … 一迫商，米谷工

「コラム」 … 宮城工

→ <バックナンバーのアドレスはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/merumaga/index.htm>

(2)ハイスクール・ネットワークー高校教育課通信ー第82号について

「ハイスクール・ネットワークー高校教育課通信ー」の第82号（平成21年12月14日発行予定）を高校教育課のホームページで配信します。

主な内容は，11月18日（水）から20日（金）に県庁1階ロビーで開催した「みんなの専門高校展」の様子の紹介です。この「みんなの専門高校展」は，本県の専門高校等で学んでいる生徒が，自分たちの日々の学習活動やその成果を発表したものです。当日の生徒の活躍の様子が写真等で紹介されています。ご覧ください。

→ <ハイスクール・ネットワークのアドレスはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/HSnetwork/network.htm>

(3)公立高校ガイド（入試情報）について

平成22年度春の高校入試関係情報を含む各高校の特色をまとめた「平成22年度公立高校ガイド（入試情報）」を各高校のホームページに掲載しましたので ご注意ください。

公立高校ガイドは，高校教育課のホームページともリンクしています。

《方法》 「宮城県教育庁高校教育課」 検索



「宮城県／教育庁高校教育課」をクリック

[アドレス] <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>



「公立高校ホームページ」をクリック



「見たい学校」をクリック … 各学校のHPのトップページへ



「公立高校ガイド（入試情報）」をクリック

(4)公立高校ガイドブックについて

「公立高校ガイドブック」については，高校教育課のホームページに掲載しております。みなさんの進路選択の一つの資料として役立ててください。

《方法》 「宮城県教育庁高校教育課」 検索



「宮城県／教育庁高校教育課」をクリック

[アドレス] <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>



「平成21年度 宮城の公立高校ガイドブック」をクリック

(5)「今後の県立高等学校入学者選抜の在り方について」

12月8日開催の高等学校入学者選抜審議会において，「今後の県立高等学校入学者選抜の在り方について」答申がまとまりました。

答申では、平成25年春の入試から、推薦入試を廃止し、新たに、作文・面接・実技の学校独自の検査とともに3教科（国・数・英）の学力検査を含む前期選抜を導入し、受検機会は、現行と同様、最大3回を確保するという内容となっています。

この後、教育委員会で、答申を踏まえ具体的な制度設計の検討を進め、今年度末までに決定する予定です。

この答申の全文につきましては、高校教育課のHP（ホームページ）に掲載します（12月16日掲載予定）ので、御覧ください。

《方法》 「宮城県教育庁高校教育課」で検索

↓

「宮城県／教育庁高校教育課」をクリック

[アドレス] <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>

↓

「高等学校入学者選抜審議会」をクリック

■ 5 編集後記 ■

今年度最後の「高校教育課 情報メール」第15号をお届けします。

平成22年度宮城県公立高校入学者選抜は、1月13日（水）から22日（金）までの推薦入試・連携型入試の出願受付、志願者予備調査報告書の提出から、本格的に始まります。受検生の皆さんは体調管理に気をつけ合格を目指して頑張ってくださいと思います。

さて、今年度「高校教育課 情報メール」は県内の各高校から寄せられた各高校の特色ある取組等の話題を中心に6回配信しました。昨年度に比べ取り上げた学校数は大幅に増えました。協力いただいた各高校の先生方に感謝申し上げます。

来年度についても、更に分かりやすい情報提供を目指し、各高校の新鮮な情報を満載した「高校教育課 情報メール」を配信する予定です。

来年度も「高校教育課 情報メール」をよろしくお願いします！

高校教育課 情報メール（メールマガジン）

○発行：宮城県教育庁高校教育課 〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1

TEL：022-211-3626 / FAX：022-211-3696
